

めあて

1. 生物育成とわたしたちについて

P138 を参考に () にあてはまる言葉を語群から選ぼう。

- 人間は食料や衣料などに利用するために、田畑を耕し、種をまくなど、様々な手入れをして (①) を育ててきた。また、えさや水をやり、ふん尿を取り除き病気や外敵から守るなどして、(②) を育ててきた。人間が作物や家畜などの生物の世話をし、それらを人間の生活に役立てることを (③) という。この技術は、長い年月をかけ、(④) ・工夫され続けている。
- エネルギー資源として利用するなど、生物育成技術の (⑤) は広がっている。生物育成技術を有効に利用することで、自然環境を保全し、(⑥) を築くことができる。

作物、 持続可能な社会、 用途、 改良、 家畜、 生物育成

2. 生物育成技術について、() にあてはまる言葉を語群から選ぼう。

(1) の栽培、(2) の飼育、(3) 作物の栽培、(4) の保全



動物、 水産、 森林、 作物

3. 作物や家畜などの特性と生物育成に関する技術

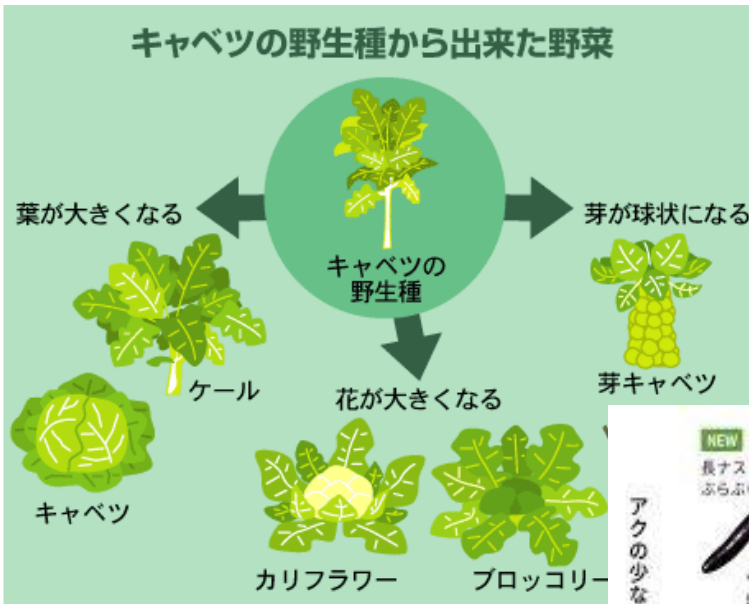
<キャベツの品種改良> P140 参照

- ・葉が重なり、(①) するようになった。
- ・その分、光が取れなくなり、自然界での (②) には弱くなった。
上のキャベツの例のように、人間が (③) にあわせ手を加えた作物や家畜は、周囲の野生生物に比べ、競争力がおとるようになることがある。そういった、作物や家畜は人間が適切に (④) し、育成することが必要となる。一方で、人間生活の向上のため、現在も (⑤) によってより役立つ作物や家畜が作り出されている。

生存競争、 品種改良、 管理、 利用目的、 結球

4. 品種改良

キャベツ



ナス



みかん

【みかん品種シール】



ご希望の産地やコメントに変更可能
産地表記なしにも対応致します。

※ご希望の品種がない場合、注文時シール原稿記入欄に
ご希望の品種名をご記入下さい。

※コメントの場合は 8 文字程度まで可能です。

※ブラマークが必要な場合はお入れします。

サイズ：(W)28×(H)21mm (1シート72枚)

全24種

- | | | | | | |
|----------------|--------------|--------------|----------------------|--------------------|--------------|
| 〇〇県産
ポンカン | 〇〇県産
伊予柑 | 〇〇県産
デコポン | 〇〇県産
不知火 | 〇〇県産
極早生
みかん | 〇〇県産
せとか |
| 〇〇県産
はるみ | 〇〇県産
はっさく | 〇〇県産
夏みかん | 〇〇県産
文旦 | 〇〇県産
日向夏 | 〇〇県産
甘夏 |
| 〇〇県産
カマンダリン | 〇〇県産
はるか | 〇〇県産
なつみ | 〇〇県産
河内晩柑 | 〇〇県産
紅まどんな | 〇〇県産
ミネオラ |
| 〇〇県産
レモン | 〇〇県産
柚子 | 〇〇県産
ライム | 〇〇県産
グレープ
フルーツ | 〇〇県産
ネーブル | 〇〇県産
清見 |

※金色や銀色等の光沢は、色の変化によって表現した物です。
実際に金等の光沢はありませんのでご注意ください。

5. 生物育成のサイクル



番号	技術の説明
①	(適切に発芽させる) 技術
②	(よりよい苗を育てる) 技術
③	(よりじょうぶに育てる) 技術
④	(病気や害虫から守る) 技術
⑤	(よりよい果実にする) 技術
⑥	(収穫する) 技術
⑦	(次の栽培に生かす) 技術

6. 栽培に適した環境

○①～③の環境条件をかいてみよう。

①	②	③
日射量、日長、降水量、温度、湿度があり、光合成や開花の時期などにかかわってくる。作物の種類によって、生育に適した温度は変わってくる。	雑草、鳥獣、昆虫のほかに目に見えない微生物、土の中の小動物などがある。作物によって、害を与えたり、有益だったりとその影響は異なる。	土壌中の養分、水分、空気などのこと。通気性、排水性、水や肥料の保つ力のちがいは、作物の生育に大きな影響を与える。

生物的要因、 土壌的要因、 気象的要因

7. 栽培方法

○さまざまな栽培方法について、①～③にあてはまることばをかき入れよう。

		
((①) 栽培)	((②) 栽培)	((③) 栽培)
鉢やプランターなどの容器を使って育てる方法。	温室やビニルハウスなどの施設 <small>せつ</small> で育てる方法。	屋根などの設備がない屋外で育てる方法。